

## 区政を問う

# 一般質問と答弁 要旨

9月6日・7日の2日間にわたり、9人の議員から区政課題全般を質問し、区長等から答弁がありました。詳細は、区ウェブサイト(ホームページ)のインターネット議会で(右コード)で録画をご覧ください。



### 9月6日



## 産後ケアデイサービスの実施、住宅と学校の断熱性向上

自由民主党目黒区議団・区民の会 西村 ちほ 議員

### 産後ケア事業の拡充について

**問** (1)母体ケアや休息など、日帰りの産後ケア(通所個別型)の早期実施を求めるがいかがか。(2)ケアを受けられる期限について、修正月齢(※1)の適用を可能にすべき。区の対応は。

**区長** (1)区外の施設の活用を含め、通所個別型の実施に向けて検討す

る。(2)今後の利用状況、国のガイドラインに照らして、可能な限り修正月齢を適用する方向で検討する。

**医療的ケア児の放課後支援について**  
**問** 看護師の配置や送迎等を行う放課後等デイサービスへの補助制度創設を。

**区長** 都の補助事業を活用し、区補助事業の実施に向けた検討を進める。

### 住宅の断熱性向上について

**問** 環境対策と快適性向上の観点から、住宅の断熱性向上を図る住宅リフォーム資金助成を拡充し、省エネや脱炭素化の促進を。区の取り組みは。

**区長** 現行の住宅リフォーム資金助成制度の拡充を検討する。

### 学校施設の断熱性向上について

**問** 教室や体育館はエアコンを設置済みだが、元々空調設備の設置を想定していない建物なので断熱性が低い。避難所にも利用されることから、暑さ寒さ対策として高断熱化が

必須と考えるが、どう対応していくか。

**教育長** 学校施設更新を計画している本区においては、大規模な改修事は行わず、必要に応じた維持保全工事を実施することとしている。このため、校舎全体の断熱化は困難であるが、教室内の環境を改善するため、今年度試験的に実施した天井の断熱化工事の効果を検証するとともに、他の自治体の取り組みに注意を払いながら、必要な対策を講じる。

### Next GIGAスクール構想

**問** 目黒区版GIGAスクール構想イメージを見直し、当初の目的である「子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育」に向けて、児童・生徒、保護者へ分かりやすく伝えることで一層進めるべきと考えるがいかがか。

**教育長** 教師、児童・生徒の力を最大限に引き出すことを示したGIGAスクール構想に基づく教育の推進に向け、環境を整え、学校を支援するとともに、広く丁寧な説明を重ねる。

**問** 学用品の一つである防災頭巾の有効性について伺う。

**教育長** 防災頭巾の使用に関して課題もあるが、想定する災害の場面や避難時などに有効な側面がある。

**難病支援について当事者の声をくみ取る工夫**

**問** 区では、障害者計画改定に向けたアンケート調査において、指定難病の方のみを対象としているが、その対象の拡大や当事者の声をさらに組み入れる工夫をしてほしいかがか。

**区長** アンケート調査のみならず、区における難病患者等へのさまざまな取り組みを通してニーズの把握に努める。

もの居場所を学校内に設けるスペシャルサポートルーム(※4)を設置できないか。(2)児童館を活用した学習支援事業を実施することができないか。(3)農業活動を通じた子どもの居場所づくりについて、区の見解を伺う。(4)不登校に悩む保護者の孤立を防ぐため、寄り添う支援の充実に取り組むべきと考えるが、区の見解を伺う。

**教育長** (1)設置モデル校における取

り組みの成果と課題を検証の上、スペシャルサポートルームの設置の在り方を検討する。(2)区長部局とも連携しながら検討する。(3)不登校児童・生徒の状況に応じて多様な体験活動を通じた子どもの居場所づくりに取り組む。(4)保護者向けハンドブックの作成を検討するとともに、保護者同士が悩みや不安を共有し合い、子どもの社会的自立や主体的な進路選択に向けた交流ができるような機会の拡充を検討する。

業者も苦戦している。区が主体となって介護、障害、保育などの福祉職員の一括した就職相談や包括的な人材確保策を行え。

**区長** (1)さらなる整備が必要であるとされており、今後の介護保険事業計画の策定の中で、方針や考え方を整理する。(2)福祉分野を運営する事業者と連携しながら、介護・障害・児童など従来の枠組みを超えた、一括した人材確保の施策を調査・研究し、可能なものから取り組む。

**問** (1)ヤングケアラーの問題において、教育委員会内にも主体的な委員会を作れ。(2)ヤングケアラー当事者の家庭にヘルパー事業を先

進的に行えないか伺う。

**教育長** (1)関係機関との連携協力を図り、子どもたちを適切に支えるよう努める。

**区長** (2)関係所管との連携強化を図り、適切な支援につなげる仕組みづくりに取り組む。

**障がい者のいる家族の更なる支援のためレスパイト事業の拡充について**

**問** 医療型の短期入所施設を作り、また、訪問型休息事業を拡充すべきと思うがいかがか。

**区長** 調査研究を続ける。

### 9月7日



## 公教育充実のために、環境の整備と教員の支援を!

目黒区議会立憲民主党 後藤 さちこ 議員

### 給食室のエアコン設置について

**問** 7月の平均気温が観測史上過去最高を更新、まさに地球沸騰化時代の中、区内31の小中学校において28校で空調設備が不十分な状況である。子どもたちの食を支える給食室で働く方々の健康と安全のためにも至急、給食室のエアコン設置が必要と考えるがいかがか。

**教育長** 既存給食室への空調設備の設置は、構造上の制約により技術的に困難な部分も多く、多額の経費を要する。より効果的な手法の検討を行った結果、食材の下処理を行う部屋への空調設備の設置を目指し、取り組みを進める。

### 図書館支援員の時数増加について

**問** さまざまなメディアの発達に伴い、

子どもたちの「読書離れ」「活字離れ」が指摘されている。区内小中学校において、子どもたちの読書活動を支援している図書館支援員の配置時数は、ほとんどの小学校で年間238時間と非常に少ない状況である。子どもたちの読書活動充実のためには図書館支援員の時数増加が必須と考えるがいかがか。

**教育長** 教員の業務負担軽減についても考慮しながら、学校図書館運営に係る業務の全体量および、学校図書館支援員と教員との役割分担を改めて整理し、児童・生徒の読書活動の推進に

資する学校図書館の運営に向け、支援する。

**区費時間講師の採用・配置について**  
**問** 教員の人的支援としての学習指導講師に欠員が生じていると伺っている。人材確保のためには、働き方に柔軟性を持たせる契約形態での区費時間講師の採用および配置をすべきと思うがいかがか。

**教育長** 子どもたちの豊かな学びと成長に資する質の高い学校教育を安定的・持続的に実施するため、学校への人的支援を確実に行えるよう必要な人材の確保に努める。

## 備蓄食糧は捨てずに活用! 木密私道無電柱化を目黒でも

自由民主党目黒区議団・区民の会 小林 かなこ 議員

### 区における新たな防災の取り組み

**問** (1)今年度実施した体験型防災訓練の課題を伺う。(2)来年度に向けての展望を伺う。

**区長** (1)従来の区と関係機関や団体が行ってきた訓練も引き続き必要である。(2)本年度の運営から成果・課題を見極め、内容の充実に取り組む。

### 災害対策用備蓄食糧の有効利用

**問** 今般備蓄飲料水の購入に3110万円余の契約を結び、賞味期限の近い約1万8千箱の回収を依頼した。(1)近年の飲料水の活用実績と廃棄量を伺う。(2)横浜市では賞味期限が切れた備蓄食糧を資源化し有効活用している。こうした取り組



## 笑顔と未来を守るために! 共生社会と公衆衛生について

めぐろの未来をつくる会 上田 みより 議員

**ペットとの共生社会における公園利用ルールの見直し**

**問** ドッグランの設置を含め、公園利用ルールの見直しについて区の考えを伺う。

**区長** 現段階で設置することは困難で

ある。犬の公園利用ルールの見直しを現時点では考えていない。

### 早期発見のための認知症施策

**問** (1)認知症早期発見のための必要な施策について、区の見解を伺う。(2)来年度、都が区市町村向けに対

## 地域の安全・温暖化対策について、区の姿勢を明確に

公明党目黒区議団 武藤 まさひろ 議員

### 防犯カメラの設置について

**問** (1)区内の犯罪件数の推移から防犯カメラの抑止効果を伺う。(2)町会への設置が目標と伺うが現状についてはどうか。(3)7年でカメ

ラの更新となるが、設置町会の更新状況を伺う。

**区長** (1)区における刑法犯認知件数は、平成27年以降昨年まで8年連続で減少している。街頭防犯カメラの普及



## 取り残しのない、目黒区の社会を目指して!

自由民主党目黒区議団・区民の会 木村 あきひろ 議員

### タブレット端末の新しい活用方法

**問** GIGAスクール構想で児童・生徒に配布されたタブレット端末を学習以外においても子どもの多様な声を収集するために活用できないか。

**教育長** 簡単なアンケート機能を用いて子どもの様子を把握するツール等を備えた学習用eポータルを導入し、機能を拡充する中で、児童・生徒一人一人の状況を多面的に把握し、指導や支援

みを目黒でも進めるべきと考えるがいかがか。(3)大量入替えの年は、区民への無料配布や学校等での有効活用を促進すべき。

**区長** (1)近年は、区内での活用や寄贈等により廃棄処分が生じていなかったが、今年度は数が非常に多いため事業者に戻させる。(2)肥料化、飼料化など、新たな取り組みを検討する。(3)各年度の新規に備蓄する数量の平準化を図り、併せて備蓄食糧を提供する団体の拡大や周知方法の見直しも検討する。

象としている補助事業である認知症検査推進事業を活用した当該検診事業へ取り組むことについて、区の考えを伺う。

**区長** (1)専門医療機関等との連携体制を構築し、医療や介護の専門チームによる初期集中支援事業、認知症の早期発見・早期診断の重要性の周知に努める。認知症検診も有効な手法の一つとして認識している。(2)実施に向けて効果的な事業となるよう、具体的な検

討を進める。

### 性感染症の啓発と検査の普及

**問** 性感染症および性感染症検査の普及啓発について区の認識を伺う。

**区長** 性感染症は、誰もが感染する可能性があることから、性感染症検査の充実と普及啓発は重要な課題であると認識している。

設への太陽光パネル設置についての考えを伺う。

**区長** 外壁面に設置するタイプや、軽量化したパネル等の製品についても、全国的に普及しつつあることから、既存区有施設への設置の可能性について調査研究する。

に生かす仕組みづくりを進める。

### 自殺未遂者へのサポート体制

**問** 自殺未遂によって区内の病院に緊急搬送された方々へのサポート体制はどのようになっているか。

**区長** 相談窓口につなぐためリーフレット配布の協力を求めるなど、病院の状況に応じた支援の実施に取り組む。

### 障害者コミュニケーション支援

**問** (1)意思疎通に何らかの障害のある

方々への支援状況はどの様になっているのか。(2)目黒区は意思疎通にかかわる何らかの条例を制定するか。

**区長** (1)障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを中心に、その他各種福祉手当や医療費助成等により支援する。(2)条例制定の検討とともに施策や具体策の拡充等の検討を進める。



## 喫緊の課題には、より早く、全庁的な取り組みを!!

公明党目黒区議団 川原 のぶあき 議員

### 地球沸騰化時代の熱中症対策

**問** 熱中症対策の強化策として、民間事業者の協力を得て、冷房設備を有する民間施設を活用したクーリングシェルター(※3)を設置できないか。

**区長** 現在立上げの準備を進めている公民連携プラットフォームなど民間事業者との対話の機会を活用し、民間施設への拡充を検討する。

### 子どもの未来を聞く不登校対策

**問** (1)クラスの教室に通いづらい子ど



## 認知症を防げ!耳の聞こえの観点からさらに進めよ!他

日本共産党目黒区議団 芋川 ゆうき 議員

**問** 認知症になる人を減らせば、当事者は健康でいられる。働いている世代からしても、仕事と親の介護の両立をすることができる。聞こえの観点から認知症予防をするため、補聴器購入費助成だけでなく、さまざまな取り組みが必要である。(1)区が必要な聴覚検査を導入せよ。(2)区独自の聞こえの相談窓口を設けるべきと思うがいかがか。(3)認知症カフェをさらに聞こえの

観点から啓発できないか。

**区長** (1)目黒区医師会や医療機関に対して、導入に向けた働きかけを行う考えはない。(2)現時点では考えていない。(3)認知症の方や家族、介護関係者等と連携を図りながら、必要な支援や情報提供に努める。

**問** (1)特養ホームの待機者は今年、8月1日時点で532人。依然として特養ホームの増設が必要ではないか。(2)福祉職員の確保については事

※1 修正月齢 一般的に実際生まれた日ではなく、出産予定日を基準とした月齢のこと。

※2 サードプレイス 家庭(第1の場所)、学校や職場(第2の場所)でもない居心地の良い第3の居場所。

※3 クーリングシェルター 熱中症による健康被害の発生を防止するため、冷房設備を有する施設を区市町村長が指定した暑熱避難施設。

※4 スペシャルサポートルーム 自分の学級に入りづらい児童・生徒に空き教室等を活用し、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を提供する。